



チーム
TEAM

ひらきた
平北

加古川市立平岡北小学校
校長 衣川 公彦
No.14 (不定期発行)
2023. 12. 22 発行

平岡北小学校だより

【新しい年を迎えるにあたり 日本の伝統について考えよう！】



今日で2学期が終わりました。明日から児童の皆さんが楽しみにしている冬休みに入ります。冬休み中で皆さんが楽しみにしていることにクリスマスやお正月があると思います。この機会に日本の伝統であるお正月について考えてほしいと思います。そもそもお正月とは、どのような日なのでしょう。お正月は1年の最初の月を表します。元日は、1月1日の丸一日を表す言葉で、元旦は、お正月の朝を表す言葉です。お正月は、新し



い年を迎えることをお祝いする日です。この日は、神様が家々を訪れ、幸福をもたらすため、神様をお迎えしたり、氏神様へのご挨拶をしたりと、伝統的な過ごし方をします。

それでは、日本の伝統であるお正月を迎えるにあたり飾りつけをして準備するものやお正月を迎えていただくものには、どのような意味があるのでしょうか。

①



②



③



①は鏡餅(かがみもち)です。これは、神様へのお供えものです。鏡餅の上ののっているみかん(橙)には、その家が代々繁栄しますように…との意味があるそうです。②はおせち料理です。これも神様にお供えするごちそうです。黒豆、数の子、田作り、栗きんとん、伊達巻き、昆布巻きなど、おせち料理や使われる食材にはそれぞれの願いや意味が込められています。③お年玉は、皆さんの楽しみの一つですね。お年玉はもともと、御歳魂と言われ、歳神様を迎えるためにお供えした鏡餅を切り分けて家族に分け与えた習慣から生まれたそうです。それが、いつの日かお餅ではなく、お金に変わったものがお年玉です。お年玉をもらったら、お家の方とお金の数え方、使い方などについて話し合う機会になるといいですね。それではみなさんよいお年をお迎えください。3学期も元気に会いましょう。



保護者の皆様、2学期も子供たちが安全に安心して学校で過ごせるようにたくさんのご協力をいただきありがとうございました。心より感謝申し上げます。これから厳しい寒さが続きますがどうぞご自愛ください。